

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成27年9月14日（月）～9月20日（日）【第38週】及び9月21日（月）～9月27日（日）【第39週】の感染症発生状況

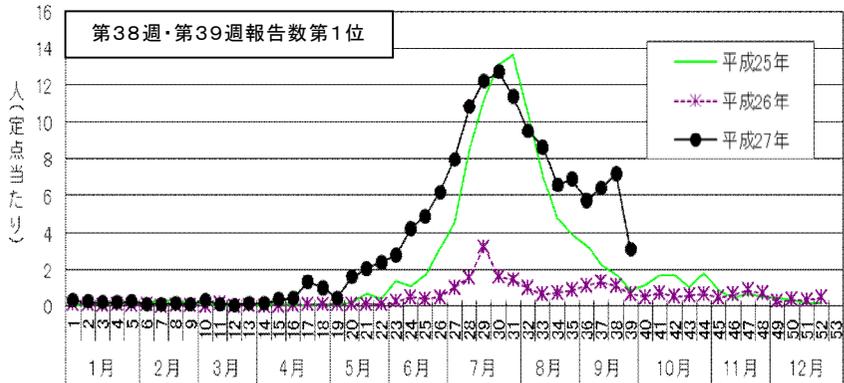
第38週・第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

第38週は、手足口病の定点当たり患者報告数が7.15人と前週（6.42人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

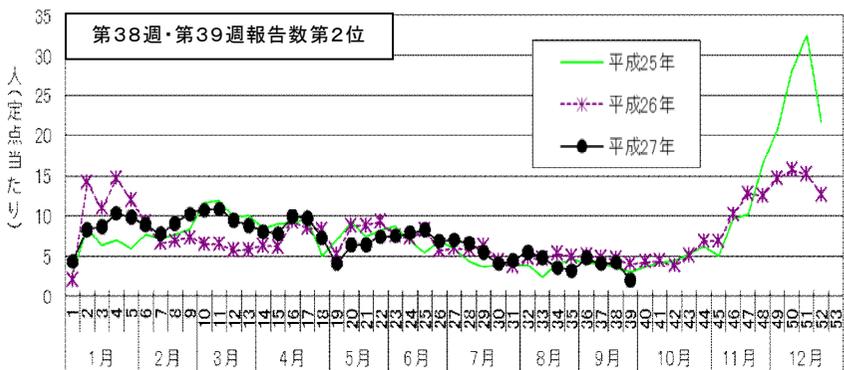
第39週はシルバーウィークと重なり、多くの医療機関が休診であったため、全体的に患者報告数が少ない状況となっています。今後の発生動向には注意する必要があります。



手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



高齢者インフルエンザ予防接種事業が始まります！

～高齢者の方はインフルエンザ予防接種を公費で受けられます。(一部自己負担あり)～



高齢者インフルエンザ予防接種事業の対象者(次の3つを全て満たす方)

- 川崎市内にお住まいの方
- 接種日に満65歳以上の方、若しくは満60～64歳で次の※に該当する方
※心臓病、腎臓病、呼吸器の機能障害又はHIVによる免疫機能障害のある方(障害1級程度)
- 接種を受けようとするご本人が接種を希望していること

※インフルエンザの予防接種は接種を受ける法律上の義務はありません。

実施期間と回数

平成27年10月1日から12月31日の間に1回

自己負担金

2,300円(接種を受けた医療機関にお支払い下さい)

ただし、次の①～③のいずれかに該当する方は接種費用が無料になりますので、接種を受ける前にお問い合わせ下さい。

- ①生活保護世帯に属する方
- ②市・県民税非課税世帯(世帯全員が非課税)に属する方
- ③中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律に基づく支援給付を受けている方

接種を受けられる場所

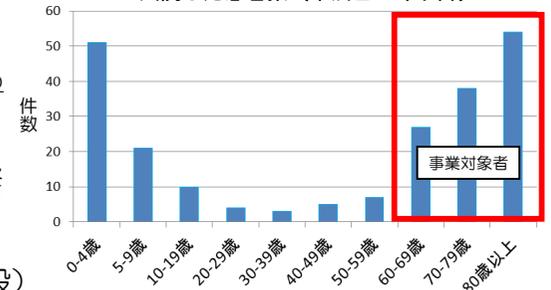
川崎市予防接種個別協力医療機関(市内約600施設)

※保健福祉センター(保健所)では受けられません。

4価ワクチンに変わりました！

- A型株 A/カリフォルニア/7/2009(X-179A)(H1N1)pdm09
A/スイス/9715293/2013(NIB-88)(H3N2)
- B型株 B/ブーケット/3073/2013(山形系統)
B/テキサス/2/2013(ピクトリア系統)

川崎市内基幹定点病院においてインフルエンザで入院した患者数(平成24年以降)



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局健康安全部・各区役所保健福祉センター(保健所)
(問い合わせ先)健康安全研究所:044-276-8250(高齢者インフルエンザ予防接種事業に関するものを除く。)
※高齢者インフルエンザ予防接種事業に関することは各区役所保健福祉センター地域保健福祉課へ御連絡ください。